

体育・スポーツ振興に関する取り組みについて

滋賀県生涯スポーツ振興計画「滋賀のスポーツデザイン 2010」(平成 14 年 3 月策定)

【計画期間】

平成 14 年 3 月～平成 22 年度(平成 20 年 3 月改訂)

【概要】

成人の週 1 回以上のスポーツ実施率を二人に一人(50%)となることを目標

「3 本柱による充実方策」

1. 地域における生涯スポーツの充実方策

(総合型地域スポーツクラブの育成・定着、広域スポーツセンターによる支援、健康づくりと交流の拡大)

2. 学校体育・スポーツの充実方策

(学校教育活動全体を通じた指導の充実、教科体育指導の充実、運動部活動の活性化)

3. 競技力の総合的な向上

(一貫指導システムの構築、指導者の養成・確保、支援体制の充実)

【平成 20 年 3 月の改訂について】

文部科学省「スポーツ振興基本計画」の改定(平成 18 年 9 月 21 日)

→主要課題に「スポーツの振興を通じた子どもの体力向上」が新設
スポーツを通じた子どもの体力向上を図るよう改訂

スポーツ基本法施行(平成 23 年 8 月) スポーツ基本計画(平成 24 年 3 月策定)

滋賀県スポーツ推進計画(平成 25 年 3 月策定)

【計画期間】

平成 25 年(2013 年度)から概ね 5 年間

【概要】

1. 自ら行うスポーツ活動の充実

(県民総スポーツの機会づくりの推進、女性の参加機会の拡充、中高年の運動習慣定着化の推進、障害のある人の参加機会の拡大)

2. 次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実

(幼児期からの運動遊び・スポーツ活動の充実、体育・保健体育の授業の充実、運動部活動の活性化、優れた能力を有するジュニア世代の発掘・育成)

3. スポーツ環境の充実

(スポーツ観戦機会の拡充、地域スポーツクラブの育成、スポーツ指導者等の育成、スポーツエキスポの育成、学校体育施設・スポーツ施設の活用・充実)

4. スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化

(地域とスポーツ団体との連携・協働の推進、大学・企業等とスポーツ団体との連携・協働の推進、スポーツイベント・トップアスリート等を活かした地域の活性化)

5. 滋賀の特性を活かしたスポーツの推進

(琵琶湖をはじめとする自然を舞台とした環境に優しいスポーツの推進、それぞれの市町の特性を活かしたスポーツの推進)

これまでの成果と現状

◇1 成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上

目標→国の実施率を上回る

	H14	H16	H17	H18	H21	H23	H24	H25	H27
滋賀県	34.4%		39.8%			42.2%		45.2%	40.5%【速報値】
全国		38.5%		44.4%	45.3%		47.5%		

(出典) 国：内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」

県：「県政世論調査」、「県民のスポーツライフにかかわるスポーツ実施状況調査」

◇2 1日の運動・スポーツ実施率が1時間以上の割合（授業を除く）【小学校5年生】

目標→全国平均を上回る

		H22	H24	H25	H26
男	滋賀県	68.3%	64.4%	330.36分	308.34分
	全国	72.1%	70.7%	340.33分	327.43分
女	滋賀県	45.3%	42.3%	174.44分	180.59分
	全国	48.2%	47.9%	201.10分	207.77分

(出典) 文部科学省：「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

※平成25年度以降、質問項目が「曜日ごとの1日の運動・スポーツ実施時間（分）」を問う内容になったため、月～金の総運動実施時間（分）を記載している。

◇2 子どもの体力・運動能力テストの体力合計点【小学校5年生】

目標→全国平均を上回る

		H22	H25	H26
男	滋賀県	53.19点	53.66点	53.45点
	全国	54.36点	53.87点	53.91点
女	滋賀県	52.56点	53.60点	53.82点
	全国	54.89点	54.70点	55.01点

(出典) 文部科学省：「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

◇3 公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者の数

目標→500人以上の増(2,888人以上)

H24	H26
2,388人	2,322人

◇3 総合型クラブで指導する有資格スポーツ指導者の数

目標→500人以上

H24	H25	H26
271人	278人	236人

(出典) 文部科学省：「総合型地域スポーツクラブに関する実態調査」

◇4 大学生が参画する総合型クラブの数

目標→20クラブ以上

H24	H25	H26
6クラブ	7クラブ	9クラブ

(出典) 文部科学省：「総合型地域スポーツクラブに関する実態調査」

◇5 特性を活かした市町のスポーツ推進に関する計画策定率

目標→100%

H24	H27(現状)
47.4% (9/19市町)	68.4% (13/19市町)

滋賀県競技力向上対策基本計画（平成 25 年 8 月（公財）滋賀県体育協会策定）

【計画期間】

平成 26 年 4 月～平成 37 年度（平成 25 年 12 月施行）

【概要】

「目標」

1. “滋賀らしさ”を活かしつつ、スポーツ推進のひとつの柱となる競技力向上方策を恒常的に取り組みます。
2. 全国や世界の檜舞台で活躍する滋賀の“おらがまちの選手”の育成に努めます。
3. 競技力向上方策が、トップアスリートとともに幅広い選手の育成につながるよう、県民にとって有益となる計画を目指します。
4. 第 79 回国民体育大会を大きな目標としながら、本県のスポーツ推進が継続して図れるよう、選手や指導者の育成、環境整備等に努めます。
5. 競技力向上方策を通して様々な連携・協働を推し進めることにより、スポーツの裾野を広げ、さらには地域活性化につながるよう支援します。

「4 本柱による充実方策」

1. 選手育成・強化関連方策
(ジュニア選手の発掘・育成・強化、成年選手・アスリートの育成・強化・確保、企業スポーツクラブ・地域スポーツクラブの育成・強化、選手への支援の充実、湖上スポーツの充実)
2. 指導体制・指導者養成関連方策
(指導者の採用と確保、指導者の適正な配置、指導者の養成と資質向上、指導者資格取得の推進)
3. 推進体制・組織・競技団体関連方策
(競技力向上対策本部の設置の検討依頼、関係団体相互の連携強化、各競技団体の運営体制・指導体制への支援、スポーツ拠点の検討と推進)
4. 環境整備関連方策
(褒賞制度等の充実、広報・啓発活動の充実、県民意識の高揚、スポーツ評価制度の検討、企業・大学との連携・協働、医科学サポート体制の整備、社会体育施設の整備、備品・消耗品の整備)

滋賀県競技力向上基本計画（平成 26 年 12 月策定）

【計画期間】

平成 26 年度～平成 36 年度（国体終了後も念頭におく）

【概要】

「目標」

1. 第 79 回国民体育大会において男女総合優勝である天皇杯獲得
2. 平成 27 年から平成 36 年までの 10 年間にオリンピック・パラリンピックなどの国際大会に出場する本県出身の選手 30 人以上の輩出
3. 国体終了後も本県の競技スポーツの発展に努め、国体を契機に高めた全国トップレベルの競技水準の定着

※これらの目標達成に向けた種々の取組を通じて、県民が夢や希望を育み、活力ある元気な滋賀を実感できる、幸福で豊かな共生社会の実現を目指す。

「取組の柱」

1. 選手の育成強化
(ジュニア選手の発掘・育成・強化、成年選手の育成・強化・確保、オリンピック・パラリンピック候補選手の活動支援、女性アスリートの育成・強化、障害者スポーツの普及・選手の拡大)
2. 指導体制の充実
(指導者の確保、指導者の養成・資質向上、組織的な競技力向上の推進)
3. 強化拠点の構築・環境の整備
(強化拠点の構築、施設の整備・競技用具の充実、医科学サポート体制の充実、選手・指導者の参加体制の整備、交流・連携の促進、広報を通じた県民の機運醸成)

競技力向上対策本部を設置(平成27年3月)

【現 状】

平成26年度長崎国体における男女総合成績	35位
平成26年度インターハイ入賞数	40
平成26年度全国中学校体育大会入賞数	26

平成 27 年度スポーツ関連予算の概要

スポーツ健康課

生涯スポーツ

項目	当初予算 (千円)	事業概要
スポーツ振興事業費	2,784	
スポーツボランティア支援事業	750	2 巡目国体の円滑な運営を目的に、スポーツイベントの運営に携わるスポーツボランティアを募集する。また、研修会の実施、派遣システムの構築も行う。
生涯スポーツ振興事業	1,508	広域スポーツセンターを中心に総合型地域スポーツクラブの創設や運営、活動全般に対し、効率的に支援する。また、県民のスポーツや健康管理に対する意識醸成のため、ラジオ体操を普及する。
地域コミュニティ促進事業	422	総合型地域スポーツクラブが、地域共通の課題である、幼児期の運動遊びの充実や子育て世代の女性の参加促進を図るため、県が連絡協議会と連携してプログラムを開発する。
ピワイチジョギング・サイクルツーリング支援事業	104	ジョギングやサイクリングを行う人に県立社会体育施設の設備を利用できるようにするとともに、自転車を駐輪するための備品を県内各所に設置する。
団体育成・各種大会負担費	51,551	
各種体育団体育成事業	527	スポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会の安定的な運営と事業を支援する。
各種体育大会開催事業	51,024	びわ湖毎日マラソン、朝日レガッタ、全日本びわ湖クロスカントリー大会、滋賀県民総スポーツの祭典、びわ湖レイクサイドマラソン、関西マスターズスポーツフェスティバル、関西ワールドマスターズゲームズの開催を支援する。
計	54,335	

競技スポーツ

項目	当初予算 (千円)	事業概要
選手の育成・発掘	86,990	
次世代アスリート発掘育成プロジェクト	9,910	県内小学 5 年生の運動能力に優れた子どもたちを見出し、各種育成プログラムを行い、将来のアスリート育成につなげる。
ジュニア選手強化対策事業	27,000	競技団体の行う一貫指導強化対策事業、高大連携事業、選抜選手・選抜チームの県外遠征などの事業を支援する。
中学校体育連盟育成・強化対策事業	10,000	中学校体育連盟各専門部が行う強化練習会、大会開催等の事業を支援する。
高等学校体育連盟育成・強化対策事業	15,000	高等学校体育連盟各専門部ごとに取り組んでいる強化事業（合同練習、合同遠征、大会開催など）を支援

		する。
成年選手強化対策事業	13,720	選抜チームの合同練習会・県外遠征など本県代表として活躍が期待される成年選手の強化活動を支援する。
ふるさと選手支援事業	4,000	「ふるさと選手制度」を活用し、他府県で活躍する大学生や優秀な成年選手の支援や確保に努める。
オリンピック・パラリンピック支援事業	5,000	オリンピック・パラリンピックなどに出場が期待される本県ゆかりの選手の強化活動を支援する。
女性アスリート・指導者育成・支援事業	1,360	女性アスリート・指導者が受講できる連続講座を開催するほか、育児と競技を両立できる環境を整備する。
障害のあるアスリート支援事業	1,000	障害のあるトップアスリートが特別支援学校を訪問するなど、障害者アスリートの発掘・育成に取り組む。
指導体制の充実	8,900	
指導者養成アドバイザーコーチ事業	6,000	全国トップレベルの指導者の指導技術や指導法を学ぶ機会を設ける競技団体の取り組みを支援する。
優秀指導者養成事業	500	国体監督資格取得を推進することにより、各競技団体の優秀指導者を増やし、組織の強化体制充実を図る。
強化スタッフ育成事業	200	効果的な強化活動を研修する場として、競技団体の強化担当者を集めた会議を開催する。
国体コーチ支援事業	2,000	次期国体監督となりうる後継者を育成できるよう、強化スタッフとして国体等の全国大会に派遣する。
障害者スポーツ指導者養成事業	200	スポーツ推進委員等に障害者スポーツ指導者の資格取得を推進するため、指導者講習会を開催する。
拠点の構築・環境の整備	46,256	
中学校運動部指定強化事業	4,000	前年度の新人大会での実績をもとに、活躍が期待できる中学校運動部を指定し、強化活動を支援する。
高等学校運動部指定強化事業	9,800	国体・インターハイ・県内大会での実績をもとに、活躍が期待できる高等学校運動部を指定し、強化活動を支援する。
湖上スポーツ育成・強化対策事業	5,000	滋賀らしさを活かした湖上スポーツについて、小学生から社会人に至るまで高いレベルで一貫した育成・強化を図る。
特殊競技用具の整備	11,945	競技力向上に必要な不可欠な、特殊競技用具（ボート艇・カヌー艇）の充実・整備を図る。
医科学サポート事業	3,000	選手への医科学サポートを実施するほか、指導者と連携を図り、スポーツに関する調査研究を実施する。
障害者スポーツアドバイザー設置事業	6,600	地域における障害者スポーツを振興するため、その相談や支援を行うアドバイザーを滋賀県障害者スポーツ協会に設置する。
アスリート広報事業	1,911	和歌山県で行われる国体・全国障害者スポーツ大会での本県選手団の活躍を伝える番組を作成するほか、県内各地で本県選手の活躍をPRする。
障害者スポーツ推進事業 (障害福祉課予算と重複)	4,000	障害者スポーツの競技力向上を図る上で、有効な方法の一つである、競技人口の増加に資することを目的に地域における障害者スポーツの拠点整備を行う。
滋賀県競技力向上対策本部 運営費	3,450	
計	145,596	県体育協会事業費を含む



項目	当初予算 (千円)	事業概要
学校体育指導費	11,809	
幼児期の運動遊び促進事業	462	幼児の運動能力の実態を把握するため調査を実施する。 指導力の向上を図るため研修会を実施するとともに幼児期運動指針に基づいた運動遊びを実践し、事例集を作成する。
体育授業力向上事業	1,114	「滋賀県体育授業力向上委員会」設置し、市町と連携して県域で一体的に取り組を進め、運動遊びに興味関心を持って、取り組めるよう「健やかタイム」や「チャレンジランキング」を実施する。
学校体育指導事業	2,122	学校体育指導に係る各種研修会・講習会の開催および研究大会等への参加。
運動部活動指導の工夫・改善支援事業	7,272	生徒の意欲・技能の向上と指導に不安を抱える教員の支援と指導力の向上を図るため、中学校・高等学校の運動部に地域のスポーツ指導者を派遣し、学校と地域が連携して指導を行う。
運動部活動指導者スキルアップ事業	839	運動部活動を指導している中堅教員を対象に、生徒とのかかわり方や適正な指導方法と管理運営、体罰防止等について研修会を実施する。
計	11,809	

企画調整課

項目	当初予算 (千円)	事業概要
滋賀のスポーツ交流創出事業	20,000	平成32年(2020年)東京オリンピック・パラリンピック事前合宿をはじめ、スポーツを通して人と人が交流する機会や場を招致・創出し、本県の新しい魅力として発信することで、本県のスポーツを楽しむ国内外からの来訪者を増やすことにより、県民の誇りづくりと元気な滋賀の創造を図る。
しがスポーツの魅力総合発信事業	9,700	
東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致	324	2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿等を誘致し、世界のトップアスリートと県民との交流機会を創出する。
滋賀のトップアスリート魅力発信「しがスポーツ大使」	2,483	本県ゆかりのトップアスリートやプロスポーツチーム等を「しがスポーツ大使」に任命し、地域の運動会や子ども体験教室などで県民との交流機会を支援することにより、スポーツの魅力を発信する。
プロスポーツ等観戦促進事業「しがスポーツの子」	1,020	本県を本拠地として活躍するプロスポーツチーム等のトップレベルの競技を生で観戦する機会を子どもたちに提供し、スポーツに対する夢や希望を育む。
総合情報発信サイト「しがスポーツナビ!」構築・運営	5,873	「しがスポーツ大使」の活動紹介や、県内で開催されるスポーツイベント、施設、指導者、ボランティア

		ア募集など、本県のスポーツに関する情報を一元的に発信する県民参加型のポータルサイトを構築し、スポーツ活動の利便性を向上する。
計	29,700	

医療福祉推進課

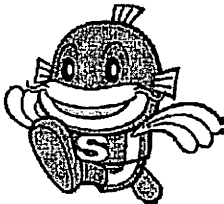
項目	当初予算 (千円)	事業概要
レイカディア振興事業費補助	6,162	全国健康福祉祭（ねんりんピック）への参加選手の派遣などについて助成する。
計	6,162	

障害福祉課

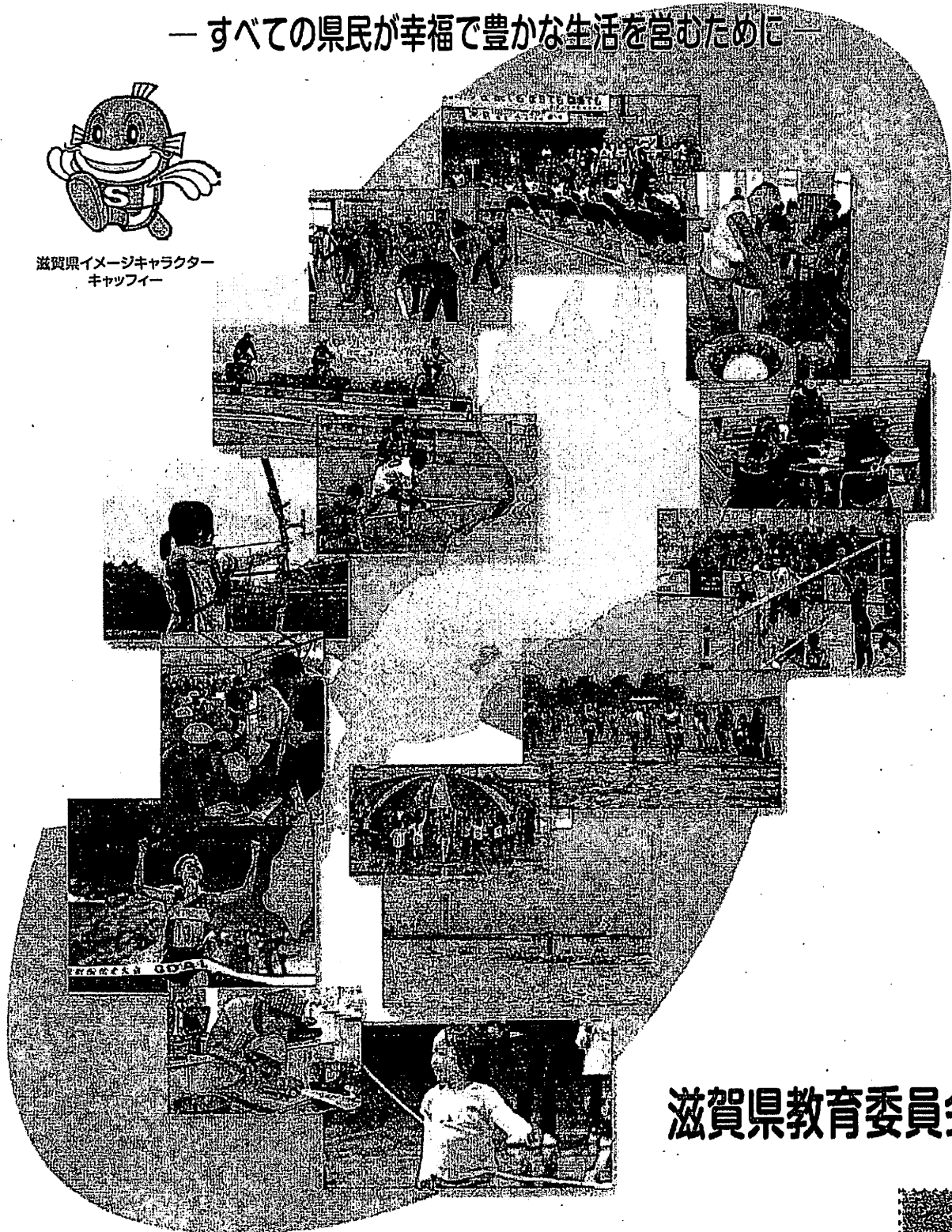
項目	当初予算 (千円)	事業概要
障害者スポーツ振興費	20,388	
全国障害者スポーツ大会選手育成・派遣事業	10,996	毎年行われている全国障害者スポーツ大会へ派遣する選手の育成・強化と、大会への派遣を行う。
滋賀県障害者スポーツ大会開催事業	5,392	県内で開催される障害者スポーツ大会を開催、運営する。
障害者スポーツ推進事業	4,000	総合型地域スポーツクラブを活用した地域における障害者スポーツの拠点整備、大学と連携した支援者の育成と、研究委員会による障害者スポーツの普及に向けたマニュアル作成により、身近な地域でスポーツに親しめる環境を整備し、障害者スポーツ人口の増加と選手の発掘を図る。
計	20,388	

滋賀県スポーツ推進計画

— すべての県民が幸福で豊かな生活を営むために —

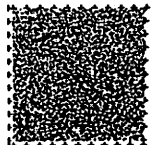


滋賀県イメージキャラクター
キャップイー



滋賀県教育委員会

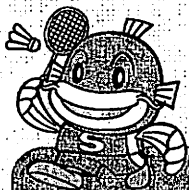
このマークは、高齢者や視覚障害者のための「SPコード」です。▶
専用の読み上げ装置で読み取ると、記憶されている情報を音声で聞くことができます。



滋賀県スポーツ推進計画とは？

滋賀県では、平成14年3月に策定した「滋賀県生涯スポーツ振興計画」を見直し、滋賀県スポーツ推進審議会からの答申をもとに、「滋賀県スポーツ推進計画」を策定しました。

- すべての県民が幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会を実現するため、滋賀のスポーツ推進に関する施策の基本的方向と具体的方策を明らかにしています。
- 平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」第10条に基づく計画です。さらに、平成24年3月に策定された「スポーツ基本計画」を踏まえた計画です。



目指す姿

すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、自ら進んで参画し、互いに連携・協働することを通して、幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会の実現

基本方針

- 1 自ら行うスポーツ活動の充実
- 2 次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実
- 3 スポーツ環境の充実
- 4 スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化
- 5 滋賀の特性を活かしたスポーツの推進



自ら行うスポーツ活動の充実



次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実



スポーツ環境の充実



スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化



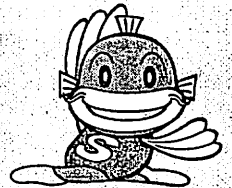
滋賀の特性を活かしたスポーツの推進



計画の期間

平成25年度(2013年度)から概ね5年間の計画です。

スポーツ推進の具体的展開



基本方針

自ら行うスポーツ活動の充実

次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実

スポーツ環境の充実

スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化

滋賀の特性を活かしたスポーツの推進

展開方策

県民総スポーツの社会づくりの推進

女性の参加機会の拡大

中高年の運動習慣定着化の推進

障害のある人の参加機会の拡大

幼児期からの運動(遊び)・スポーツ活動の充実

体育・保健体育の授業の充実

運動部活動の活性化

優れた能力を有するジュニア世代の発掘・育成

スポーツ観戦機会の拡大

地域スポーツクラブの育成

スポーツ指導者等の育成

スポーツエキスパートの育成

学校体育施設・スポーツ施設の活用・充実

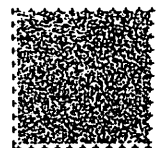
地域とスポーツ団体との連携・協働の推進

大学・企業等とスポーツ団体との連携・協働の推進

スポーツイベント・トップアスリート等を活かした地域の活性化

滋賀州を主舞台とする自然を舞台とした環境に風合いあるスポーツの推進

それぞれの市町の特性を活かしたスポーツの推進



〇滋賀県スポーツ推進計画 策定の経緯

平成24年3月16日

第1回滋賀県スポーツ推進審議会

滋賀県スポーツ推進計画の在り方について(諮問)

- 滋賀県教育委員会から滋賀県スポーツ推進審議会に「滋賀県スポーツ推進計画の在り方について」諮問
- (審議事項) 滋賀のスポーツ推進に関する視点について

平成24年5月14日

第2回滋賀県スポーツ推進審議会

- (審議事項) 「滋賀県スポーツ推進計画の在り方について」答申案骨子について
・「基本的な考え方」「基本方針」等

平成24年6月18日

第3回滋賀県スポーツ推進審議会

- (審議事項) 「滋賀県スポーツ推進計画の在り方について」答申素案について
・「推進の方向性」等

平成24年9月7日

第4回滋賀県スポーツ推進審議会

- (審議事項) 「滋賀県スポーツ推進計画の在り方について」答申案について
・「基本的な考え方」「基本方針」「推進の方向性」全体の確認

平成24年9月26日

滋賀県スポーツ推進計画の在り方について(答申)

- 滋賀県スポーツ推進審議会から滋賀県教育委員会に「滋賀県スポーツ推進計画の在り方について」答申

平成24年10月27日

スポーツフォーラム滋賀2012

- 滋賀県スポーツ推進計画の在り方について(答申)を受け、今後のスポーツの方向性について、県民と意見交換を行うための公開討論会の開催
・基調講演 ・公開討論会
- 関係機関及び関係団体への意見照会の実施(～12月)

平成24年12月26日～平成25年1月25日

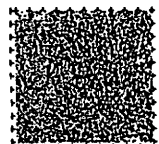
県民政策コメントの実施

- 「滋賀県スポーツ推進計画原案」について意見募集等の実施
・(実施結果) 12人(団体)から延べ55件

平成25年3月19日

滋賀県スポーツ推進計画 策定

- 滋賀県教育委員会3月定例会にて、「滋賀県スポーツ推進計画」の承認



滋賀県競技力向上基本計画

(概要版)

目標

計画の着実な推進のためには、明確な目標の設定が必要と考えられることから、滋賀県競技力向上基本計画の目標を

- 第79回国民体育大会における男女総合優勝である天皇杯獲得

とします。あわせて、以下の2点を目指します。

- 平成27年から平成36年までの10年間にオリンピック・パラリンピックなどの国際大会に出場する本県出身の選手30人以上の輩出

- 国体終了後も本県の競技スポーツの発展に努め、国体を契機に高めた全国トップレベルの競技水準の定着

これらの目標達成に向けた取組を通じ、県民が夢や希望を育み、活力ある元気な滋賀を実現できる、華やかな共生社会の実現を目指します。

本県の競技力の主な現状

- 第68回国民体育大会（平成25年）の天皇杯順位 40位、天皇杯得点 763.8点。
- 全国高校総合体育大会 入賞数 20、全国中学校総合体育大会 入賞数 21。
- 滋賀県出身のオリンピック・パラリンピック出場者数、過去5大会で17名。
〈トリノ：1名 北京：5名 バンクーバー：2名 ロンドン：7名 ソチ：2名〉

段階的目標

平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年～
10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	開催後～
長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	鹿児島	茨城	三重	栃木	佐賀	滋賀	

準備期		充実期		躍進期		継続期
強化拠点の構築	アスリートの育成	アスリートの実力向上		競技水準の定着		
指導者の確保	躍進期の選手育成を支える指導者の確保		強化スタッフ体制の確立			
国体目標点数：1,000点	国体目標点数：1,200点	1,500点	1,600点	1,800点	2,400点	1,200点
国体目標順位：20位台	国体目標順位：10位台	0位以内	8位以内	5位以内	1位	15位以内
インターハイ入賞数：30	インターハイ入賞数：40	50	60	80	100	50

選手が伸びる

課題

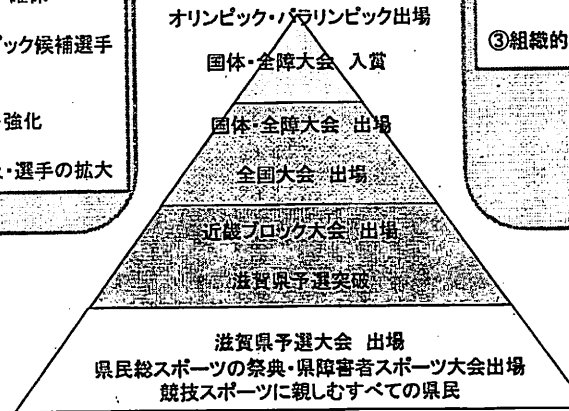
- 優秀な選手が県外に進学する
- 成年選手が競技を継続できない
- 明確な目標が選手に必要
- 女性選手の競技継続が難しい
- 障害者スポーツの選手確保

選手の育成強化

- ①ジュニア選手の発掘・育成・強化
- ②成年選手の育成・強化・確保
- ③オリンピック・パラリンピック候補選手の活動支援
- ④女性アスリートの育成・強化
- ⑤障害者スポーツの普及・選手の拡大

滋賀県の競技力向上を図るには！

トップアスリート育成



選手を伸ばす

課題

- 指導者の高齢化・指導者不足
- 指導者の資質向上
- 組織的な指導体制の構築
- 女性指導者の不足
- 障害者スポーツの指導者不足

指導体制の充実

- ①指導者の確保
- ②指導者の養成・資質向上
- ③組織的な競技力向上の推進



選手を支える

課題

- 各競技の強化活動を効果的に実行が必要がある
- 滋賀県の自然環境を活かした競技種目の重点強化が有効
- 選手の競技活動を支える環境の整備が必要
- 県全体で競技選手を応援する機運の醸成

強化拠点の構築・環境の整備

- ①強化拠点の構築
- ②施設の整備・競技用具の充実
- ③医科学サポート体制の整備
- ④選手・指導者の参加体制の整備
- ⑤交流・連携の促進
- ⑥広報を通じた県民の機運醸成

○滋賀県競技力向上基本計画 策定の経緯

- 定例教育委員会（平成26年3月19日）
（審議事項）滋賀県スポーツ推進審議会に対する諮問について

【滋賀県競技力向上基本計画の在り方 諮問】

- 第1回滋賀県スポーツ推進審議会（平成26年3月20日）
（諮問）滋賀県競技力向上基本計画の在り方について
（審議事項）本県の競技力向上に係る意見交換
 - 第2回滋賀県スポーツ推進審議会（平成26年5月8日）
（審議事項）滋賀県競技力向上基本計画 計画骨子について
・各章の章立て ・競技力向上イメージ図など
 - 第1回滋賀県競技力向上方策検討会議（平成26年5月30日）
（審議事項）本県の競技力向上方策について
・第2章 滋賀県の競技力の現状および課題など
 - 第2回滋賀県競技力向上方策検討会議（平成26年7月3日）
（審議事項）本県の競技力向上方策について
・第3章 競技力向上に向けた取組など
 - 第3回滋賀県スポーツ推進審議会（平成26年7月11日）
（審議事項）滋賀県競技力向上基本計画の在り方 答申素案について
・すべての章の内容確認など
 - 第4回滋賀県スポーツ推進審議会（平成26年8月7日）
（審議事項）滋賀県競技力向上基本計画の在り方 答申案について
・修正意見の反映状況など
- ### **【滋賀県競技力向上基本計画の在り方 答申】**
- 滋賀県スポーツ推進審議会 会長より教育長へ答申提出（平成26年9月3日）
（答申提出）滋賀県競技力向上基本計画の在り方について
 - 県民政策コメントの実施（平成26年10月6日～11月5日まで）
（実施結果）4人からのべ7件

【滋賀県競技力向上基本計画 策定】

- 定例教育委員会（平成26年12月19日）
（審議事項）滋賀県競技力向上基本計画について